所属・氏名(看護学部 看護学科 氏名:羽山 美和)

	著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(学術論文) 健康な准高齢者に相応する 中高年女性における主観的 幸福感と心理的指標や生活 習慣病関連指標との関連性 《筆頭論文》	共著	2018年4月	広島都市学園大学 雑誌「健康科学と人 間形成」 Vol.4 No.1 号 pp. 5 ~13	
2	(報告・発表) 出産体験に関して母親が伝え た内容と子供が受けとめた内 容の相違に関する検討 《筆頭論文》	共著	2017年3月	広島都市学園大学 雑誌「健康科学と人 間形成」 Vol.3 No.1 号 pp. 67~76 第 57 回日本母性衛 生学会総会	看護学科に在籍する4年次生と彼らの母親計40 組を対象に妊娠・出産・育児に関して母親から娘・息子が聞いた話、また母親が子どもへ伝えた話を調査し、子どもは母親から何を伝えられているのか、またどのように母親の話を理解しているのか分析した。その結果、母親は多くの内容を子どもへ語り継いでいた。しかし、母親が子どもへ伝えた内容と子どもが母親から伝えられたと認識した内容には母親個々の妊娠や出産の経験の差が生じていた。出産の恐怖・不安だけでなく出産の喜びや命に関する感謝の想いなど肯定的な想いを子どもに伝えていく必要がある。(当該論文のページ数:10頁)(羽山美和、室津史子、柘植静花)担当部分:データー整理と分析、論文作成
3	(報告・発表) 学年進行に伴う看護学生の看 護師キャリアコミットメントの変 化	共著	2016年3月	雑誌「健康科学と人 間形成」	看護教育において看護職としてのキャリアコミットメントを育成する為に大学生のキャリアコミットメントについて各学年を対象に特徴や経年的変化を学年による特徴や経年的変化を用いて調査・検討した。その結果、専門的職業要素は4年次生が前年度より低下し、外観的要素は2・3・4年次共に低下し、職業的魅力要素は2年次生で低下した。2年次生から3年次生にかけて望ましい看護モデルを示し、意欲を高める教育的工夫の重要性が示唆された。(総ページ数:10頁)(室津史子、今村美幸、 <u>羽山美和</u> 、友安由貴子、藤原理恵子)(担当部分:共同研究について本人担当部分抽出不可能)